

**地域福祉に関する社会福祉法人アンケート調査  
報 告 書**

**令和5年8月**

# 目 次

## I 調査概要

1. 調査目的 .....	1
2. 調査方法 .....	1
3. 回収結果 .....	1
4. 報告書を見る際の留意点 .....	1

## II 調査回答集計

1. 貴法人の実施している福祉事業について.....	2
2. 地域との連携について.....	2
3. 生活支援体制整備事業について.....	4
4. その他 .....	5

# **I 調査概要**

---

## **1. 調査目的**

平成31年3月に市地域福祉計画・地域福祉活動計画（以下「本計画」とする。）を策定いたしました。その後の新型コロナウイルス感染症の影響による社会変化、複雑・複合化する地域の福祉課題等に対応するため、今般本計画の改正を予定しています。本計画の改正に伴い、社会福祉法人の皆様が日頃の活動の中でお考えになっていることを伺い、本計画改定に反映させることを目的としてアンケート調査を実施しました。

## **2. 調査方法**

調査対象者：市内23法人

調査方法：オンライン回答による調査

調査時期：令和5年1月～2月

## **3. 回収結果**

39.1%（9/23法人）

## **4. 報告書を見る際の留意点**

- お寄せいただいたご意見・ご要望は内容に変更が生じない程度に一部語句等の修正を行っておりますが、原則そのまま掲載しておりますので、名称が異なっていることや誤字等もある場合がありますがご理解ください。

## Ⅱ 調査回答集計

### 1 貴法人についてお伺いします。

問1 貴法人の実施している福祉事業は何ですか。実施している事業すべてお書きください。

- ①保育所，一時預かり事業，子育て支援センター，学童保育，児童発達支援事業所，放課後等デイサービス
- ②障害者支援施設，特定相談支援事業所，地域活動支援センター，障害者就業・生活支援センター
- ③共同生活援助，生活介護，就労継続支援B型，特定相談支援，日中一時支援
- ④共同生活援助事業（介護包括サービス型），多機能型障害福祉サービス事業（生活介護，生活訓練，就労継続支援B型，就労移行，就労定着），地域活動支援センター，支援センター（一般相談，特定相談）
- ⑤特別養護老人ホーム，軽費老人ホーム，グループホーム，ショートステイ，デイサービス，ホームヘルプサービス，居宅介護支援，地域包括支援センター，保育園，子育て支援センター，学童保育，子ども食堂
- ⑥保育所
- ⑦保育園，企業主導型保育事業
- ⑧特別養護老人ホーム，居宅支援事業所，サービス付き高齢者向け住宅
- ⑨保育所

### 2 地域との連携についてお伺いします。

問2 地域の団体等と業務上連携して事業などを実施していますか（いずれか一つに○）

- 1 実施している →6法人
- 2 検討中 →2法人
- 3 実施していない →1法人

問3 問2で「1 実施している 2 検討中」と回答した法人にお伺いします。どういった団体と連携していますか、もしくは連携予定ですか。また、どのような内容の連携を

していますか、また連携したいと思いませんか。あてはまるものすべてについて、下記回答欄にお書きください。

## 1 実施している→6法人

- ・(NPO 法人) フリースクールと情報交換を実施  
(学校) 児童の情報交換を実施。外国人母子家庭の付添やおたよりやメール等の説明や翻訳  
(障害者関連施設) 児童の情報交換を実施  
(民生委員児童委員) 地域の委員との情報共有
  
- ・(企業) 自施設を含む近隣の障害者の働く場と憩いの場の確保  
(その他) 自施設を含む近隣の障害者に対してグループセラピーの実施
  
- ・福祉避難所を行うため、他障害福祉サービス事業所と連携して市と協定を結び協定福祉避難所を運営している。
  
- ・(ボランティア団体, 障害者関連施設, その他(地域家族会)) 定期的に会議を開催し、地域の障害福祉(主に精神障害, 知的)について、研修や情報交換, 市町村への意見書提出などを行っている。  
(企業) 多機能型障害福祉サービスの作業において、地元の鉄道会社ならびに駅名標のデザイナーとコラボして、お土産品としてお菓子を作っている。  
(企業, その他(商工会議所)) 地元のまちづくり会議に定期的に参加している。
  
- ・小学校高学年の子ども達が、地域で安心して過ごすことができる放課後の居場所を提供しています。地域の民生委員のボランティアさんが食事作りを手伝ってくれ、子ども達との触れ合いや会食の時間を過ごしています。
  
- ・慰問

## 2 検討中→2法人

- ・(ボランティア団体, 子育て支援センター, 障害者関連施設, 児童関係施設)
1. まだ連携はしていないが、発達障害等の園児が増加傾向にあり、地域の発達支援事業や障害等の施設と連携を検討している。または当法人自体で外部団体からサポートを頂きながら、発達支援事業を展開できないかと考えている。
  
  2. 社会福祉法改正に沿って、社会福祉法人に「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。まだ、人員配置等課題が多く、取り組んでいないが、「地域における公

益的な取組」で外部団体等と連携していく可能性がある。

・コロナ前

(自治会) サロンの場所を提供。

地元夏祭りへの参加と特養夏祭りでの地域の方々の参加

中学校区地区会議に参加し、社福として出来る事を模索中。

(市社会福祉協議会) 小学生への介護教室時に講師として参加

問4 問2で「3 実施していない」と回答した法人にお伺いします。今後実施したいと  
思いますか。(いずれか一つに○)

- 1 思う
- 2 思わない →1 法人/1 法人

問5 問2で「3 実施していない」と回答した法人にお伺いします。  
現在実施していない理由は何ですか。(いずれか一つに○)

- 1 地域と話をする機会がない
- 2 地域から拒否されている
- 3 どこに声をかけていいかわからない
- 4 必要性を感じない
- 5 その他 →1 法人(人員に余裕がない) / 1 法人

**3 現在国の施策である「生活支援体制整備事業」を受け、市内において、高齢者の見守りや子育て支援など、地域自らが考え事業等を実施していくため、話し合いの場を作っ  
ていこうと考えている地区があります。**

問6 今後、法人の所在地区において、このような地域の取組があった場合、参加したい  
と  
思いますか。(いずれか一つに○)

- 1 積極的に参加したい →6 法人
- 2 必要があれば参加してもよい →3 法人
- 3 あまり参加したくない
- 4 参加する必要性を感じない
- 5 その他

問7 法人として地域とどのような関係を築きたいと考えていますか。

・地域の子育て家庭に支援が行き届くように、自治会と一体となって支援の体制を構築する。また、災害時の施設としての役割と自治体への協力体制を築いていきたい

・地域の皆さんが集まることが出来る場所の提供や、機会の提供をおこなっていく存在となりたいと考えております。

・地域と共に歩んでいける関係を築きたい。  
・グループホームがあるので、地域住民の一人として、見守りあえるよう自治会との交流を行いたい

作業の一つとしてレストランを運営しているため、学校の社会見学や実習体験などに利用してもらえるよう働きかけたい

地域活動支援センターにおいて、地域の方も一緒に参加できるプログラムを作り、利用者と交流できるようにしたい

支援センター敷地内の花壇の整備を、地域ボランティアや近隣学校に呼びかけて、一緒に行ってもらいたい

ボランティアの方に協力いただき、福祉の店を運営しているため、学校の長期休みに、こども食堂を開きたい

精神障がいの方が地域で生活するためのアパート契約をスムーズに行えるよう、不動産会社と連携を図りたい

災害時に、精神障がいのある方が安心して避難できる環境を整えるため、障がい理解をすすめたい

・地域の方々と支え合える関係を築いていきます。

・法人が地域と連携することによって、社会福祉サービスが地域に役立ち、また、地域での法人の存在意義をより認識して頂けると考えます。

互いに理解し合い、助け合える関係構築が出来たらと思います。

・地域から頼られる社福でありたい。が正直なところ現在自分たちの施設を守る事で手一杯になっている。小さなことから社福の役割である『地域貢献』を進めていきたい。

## 4 その他

問8 コロナ禍においてイベント中止の判断は何を基準にしておこなっていますか。あてはまるものを選択し、記載ください。

1. 感染者数、県の対策ステージ等を参考にするなど、中止にする基準（例：県の対策ステージ0となったら中止）を具体的に決めている。

→5法人

- ・県の対策ステージ2となったら中止
- ・感染者数や県のステージ等を参考にしながら、一般の診療所でコロナウイルスを診ることが出来るようになるまでと考えています。
- ・ステージ3の段階では、なるべく対外的な関わりが多いイベント等は控えています。

- ・茨城版コロナ Next ステージ3
- ・施設内で感染者が出ている場合

2. 役員等で話し合いその都度決定している。

→4法人

3. その他

→3法人

- ・県の対策ステージ，県の通達，事業所内での感染状況をもとに，その都度話し合っていて決めている

**問9 コロナ禍以前と比較して，貴団体の活動に変化はありましたか。（自由記載。）**

- ・外部との交流ができなくなった。活動の前後の消毒と検温が必須。3密を避けるために人数制限の強化。保護者同士の交流の機会が激減。園外保育のための観光バスに定員よりも少なめに乗るようになったため，台数を増やさなければならない。

何よりも乳幼児や発達障害の児童に対して，職員がマスク着用のため言葉や表情が届きにくくコミュニケーションの低下に繋がっている。

- ・活動に大きな変化がありました。コロナを含む他の感染症等とは今後も共存をしていくことになるため，コロナ禍以前の生活に戻ろうとするのではなく，新しい生活の送り方を意識していく方向に変化をしてきました。

- ・事業自体は変わりなく行っているが，事業内での行事等が中止及び縮小して行っている。

・様々なことを中止にせざるを得なかったが，最近では，徐々に開催方法を工夫して再開しているものある

（支援センター）

- ・大人数でのイベント（法人の祭り，地域住民への講座，映画会）の中止
- ・食事に関するプログラム（昼食会作り，夕食会，デザートクラブなど）の中止
- ・カラオケなど飛沫感染のプログラムの中止
- ・旅行，外出の中止
- ・静養室の布団貸し出し中止
- ・ZOOMでの講座開催

（グループホーム）

- ・黙食，個食の推奨
- ・家族交流会の中止
- ・入居者交流会の中止

（多機能型）

- ・対面販売の中止
- ・大人数で集まるプログラムの中止

- ・注文販売の実施

- ・外部の方々（ボランティア・保育園児の発表会・創作活動等の講師など）を招いての活動が減ってしまった。
- ・すべてにおいて制限された活動になってしまった。

- ・行事やイベントへの保護者や祖父母世帯の参加が限定された。

行事によっては、子どものみでの開催、家庭で1名まで、家庭で2名までなど、開催場所の広さによって、人数制限を行った。行事によっては、密にならない広さを確保するために、同じ行事を2回行うなど、手間が増えた。

また、衛生面でも、人の入れ替え等がある場合には、消毒作業を行うなどの対応をしている。

また、複数園での共同開催は中止し、単独園での開催のみにした。

人数制限をした代わりに、行事等によっては、インターネットによるL I V E配信を行い人数制限で来られない方々へ対応を行った。

園内で陽性者が発生した場合の情報把握や発信に多くの時間を取られた。濃厚接触者の定義がなくなり、比較的、以前よりは対応への時間は取られなくなったが、情報発信など、コロナ禍以前と比較すると負担が多い。

保育士採用に関しても、保育士養成校の実習が遅くなっている傾向が伺え、当法人における保育士採用時期も若干遅れている感じがある。

- ・地域に関わる事は目に見えて減った。実際、家族との面会も制限している状況で地域とのかわりを持つとの考えは全くなく、実際に行えていない。4月よりコロナウイルスは5類になるとの報道もあり、状況を見ながら、地域とのつながりを再度構築していきたい。

- ・行事の中止や縮小等